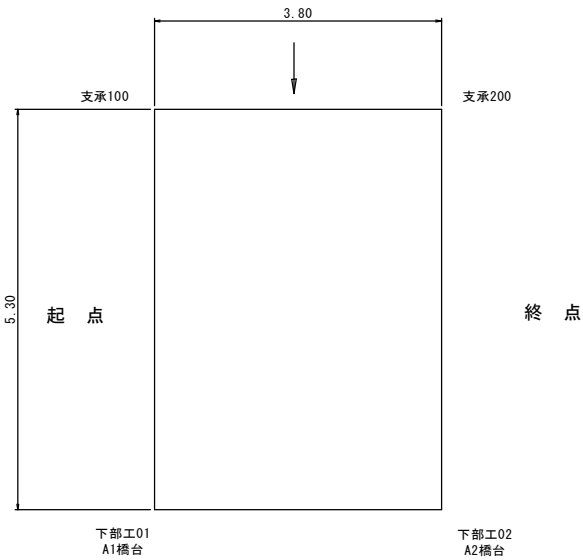
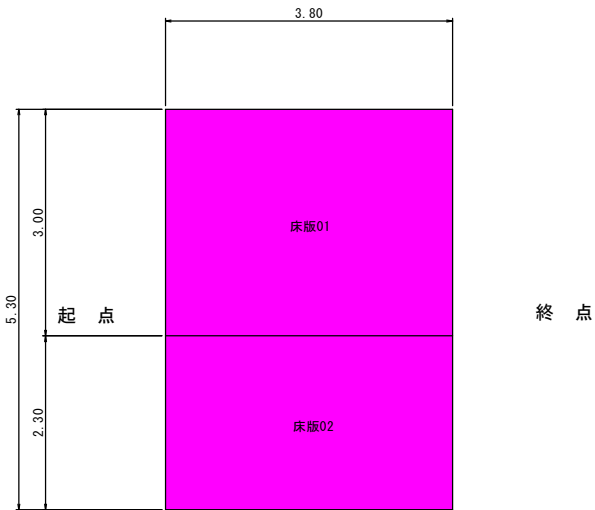


10174橋 一般図

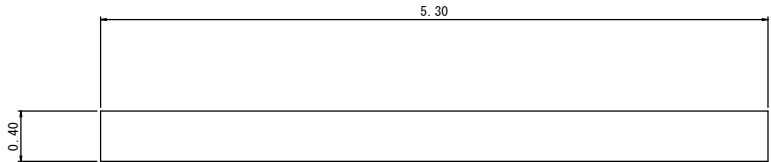
平面図 S=1:50



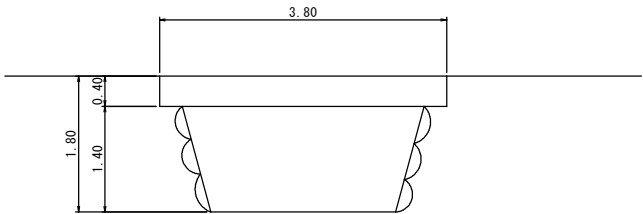
桁配置図 S=1:50



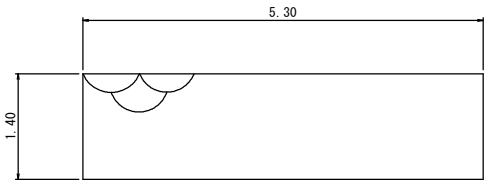
断面図 S=1:30



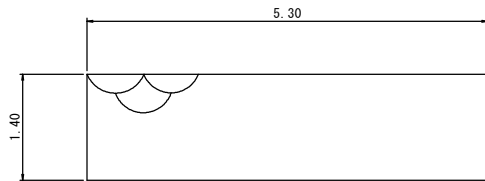
側面図 S=1:50



下部工01 S=1:50



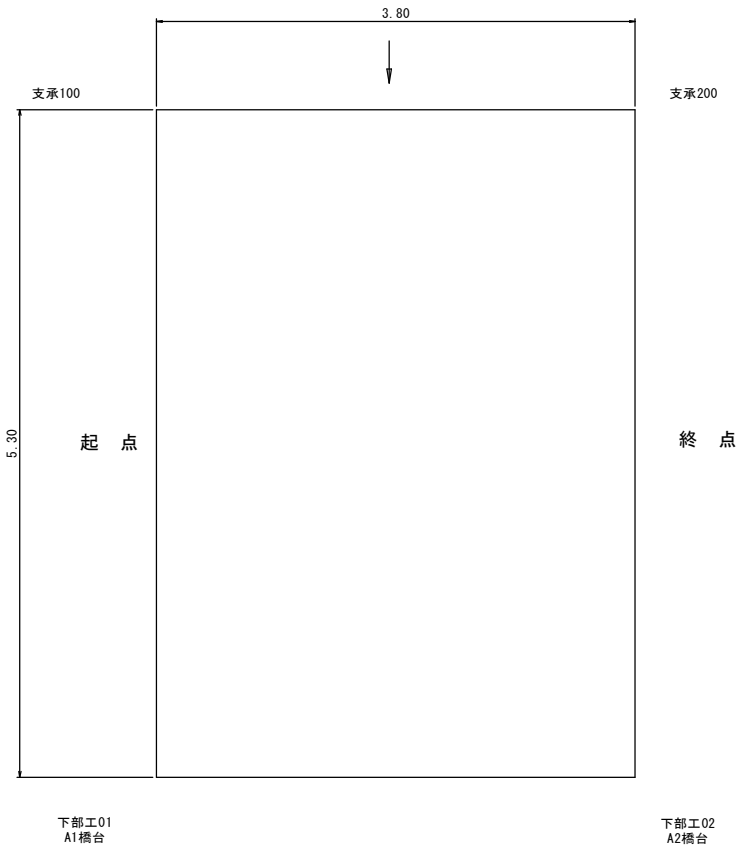
下部工02 S=1:50



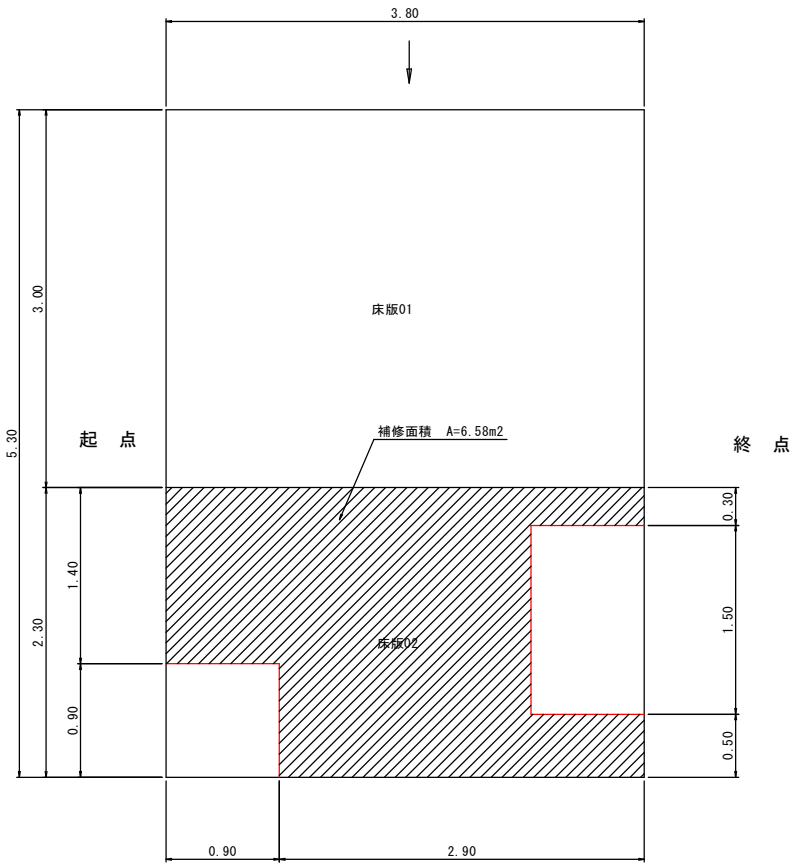
工事名	市道田中大元線（10174橋）橋梁補修工事（R8）		
図面種別	10174橋 一般図		
施工年度	令和 8年度		
縮尺	図示(A1)	図面番号	1 / 3
位置	岡山市北区今四丁目地内ほか		
発注者	岡山市北区役所 地域整備課		

10174橋 補修図

平面図 S=1:30



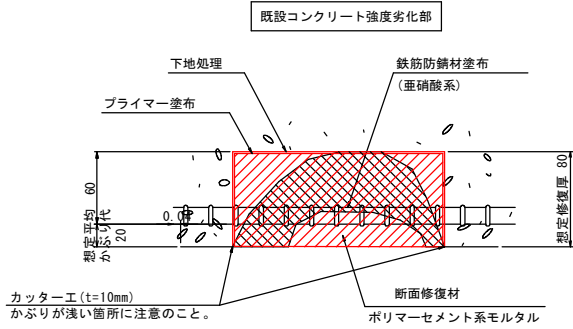
桁配置図 S=1:30



断面修復工

(左官工法：ポリマーセメント系)

剥離・鉄筋露出



- 凡 例
- 強度低下した範囲（深度は現地で確認のこと）
 - 断面修復材充填範囲

断面修復工単位数量表 (1m2 当り)				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
は っ り 工	想定はつり厚 t=60	m3	0.06	
断 面 修 復	ポリマーセメント系	m3	0.08	

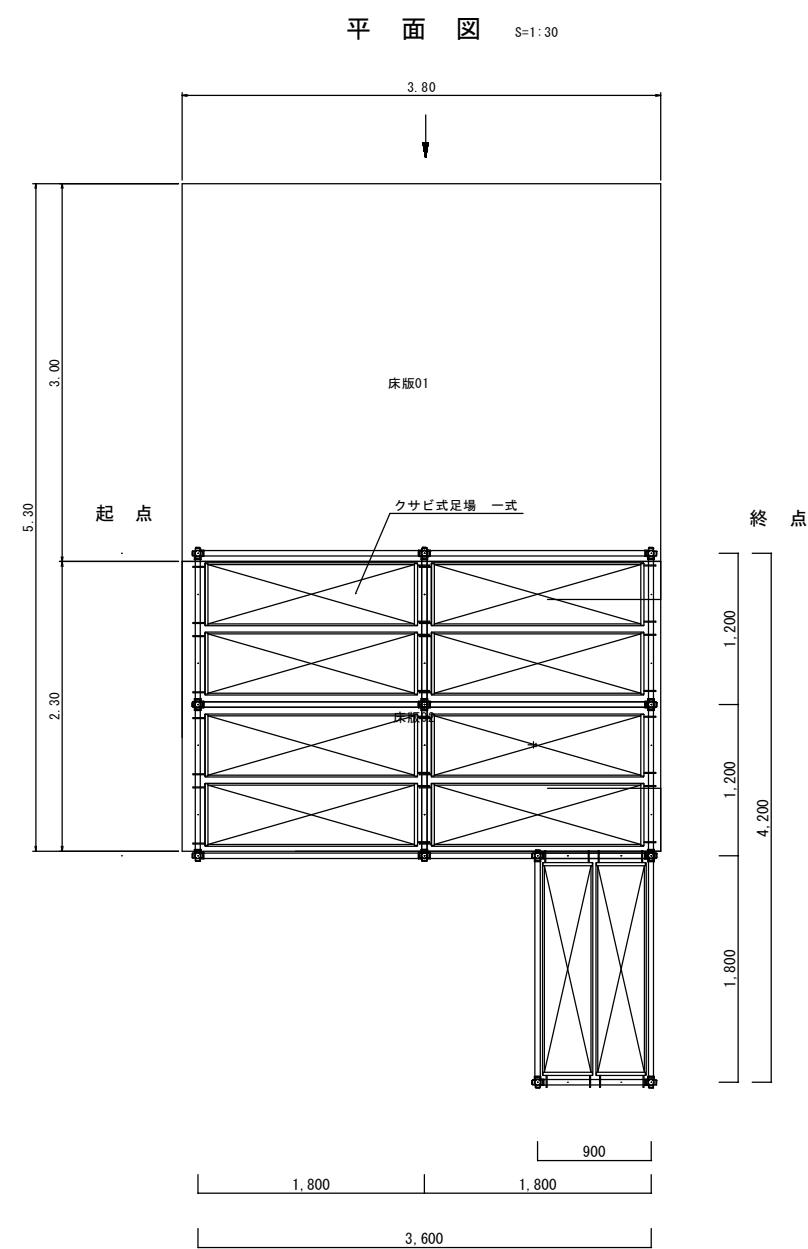
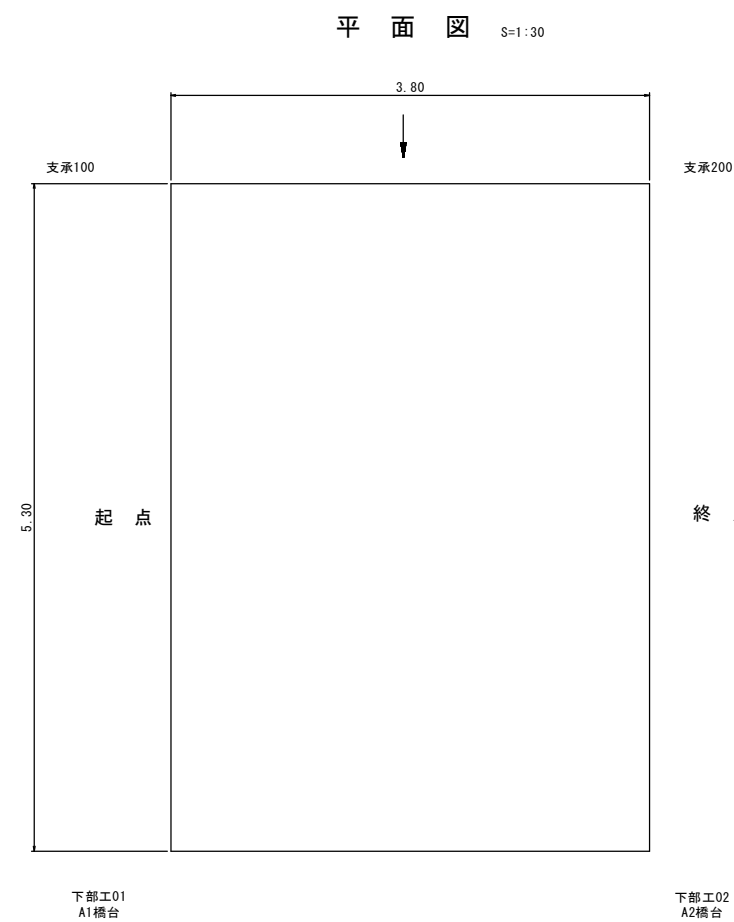
- 【注記】
- 断面修復材の品質は、強度・材質が既設コンクリートと同等の材料とする。
 - 鉄筋に錆が認められた場合は、鉄筋の裏側まで露出させ完全に錆を落とした上で防錆処理を行うこと。
 - 修復厚を明記しているが修復材は確実に損傷最深部まではつり、充填すること。
 - 下地処理を確実にを行い、補修材料との付着に留意すること。

【注記】

- ・施工前においては、現地確認を行い補修箇所及び現地寸法を確認すること。
- ・部材に漏水・遊離石灰が見られる場合はそれを除去し、部材面を十分に清掃すること。
- ・断面修復工施工時に鉄筋に錆が認められた場合は、鉄筋の裏側まで露出させ、完全に錆を落とした上で防錆処理を行うこと。
また、鉄筋腐食が著しく進行している場合は発注者と協議の上、施工を実施すること。
- ・コンクリート表面の高圧洗浄・ケレンは十分に行うこと。

工事名	市道田中大元線（10174橋）橋梁補修工事（R8）		
図面種別	10174橋 補修図		
施工年度	令和 8年度		
縮 尺	図 示 (A1)	図面番号	2 / 3
位 置	岡山市北区今四丁目地内ほか		
発注者	岡山市北区役所 地域整備課		

10174橋 仮設工要領図（参考図）



工事名	市道田中大元線（10174橋）橋梁補修工事（R8）		
図面種別	10174橋 仮設工要領図（参考図）		
施工年度	令和 8年度		
縮 尺	図 示 (A1)	図面番号	3 / 3
位 置	岡山市北区今四丁目地内ほか		
発注者	岡山市北区役所 地域整備課		